



# 湘南台中 学校だより

2023年度 Vol.12 3月1日発行 文責 校長 松原 保

## まもなく春うらら

2月15日に、関東地方で「春一番」が吹いたと気象庁から発表されました。昨年よりも14日も早く春の便りが届いたこととなります。「三寒四温」という言葉があるように、寒い日と暖かい日を繰り返して、少しずつ春に近づいていくわけですが、前日との気温差が1年で最も激しい時期が3月だそうです。日によっては10度以上1日で変わることもあるので、体調を崩さないように衣類で上手に調節をして過ごしましょう。

### (豆知識)春一番って？



季節が冬から春へと変わる時期に、初めて吹く暖かい南よりの強い風のことを言います。

具体的には、2月4日頃の立春から3月21日頃の春分までの間に、日本海で低気圧が発達し、毎秒8メートル以上の南風が吹いて気温が上がる現象のことをさします。



玉縄桜 (湘南台公園)

今年も湘南台公園の玉縄桜が見ごろを迎えています。この玉縄桜は、一般に広く知られている「ソメイヨシノ」よりも、ひと月ほど早く開花する桜です。(私も昨年知ったのですが^^;) 鎌倉にある大船フラワーセンターで品種改良されたことから、フラワーセンターのある「玉縄」という地名が付いたそうですよ。皆さんもぜひご覧になって、春を感じてみてください(^^♪

## もうすぐゴール



2023年度のゴールテープが見えてきました。昨春の始業式・入学式から始まった今年度でしたが、あっという間に1年近い時間が経ってしまいました。今年度の始まりの日、校長から生徒の皆さんに3つの願いを伝えましたが、覚えている人はいますでしょうか?・・・^^;)

- ①「クラスや学年の仲間、先生達とのコミュニケーションを大切にして人とのつながりの輪を広げてほしい」
- ②「目標や希望をもって色々なことに挑戦してほしい」
- ③「自分を大切にするとともに、同じくらい周りの人にも優しく接することができる人であってほしい」という3つです。

どれも社会で生活していく上で高めておきたいスキルや意識であり、皆さんが意欲を持って生活し、学校が安心できる居心地の良い場であるために必要な要因であると思っています。

湘南台中学校では600人も生徒が一同に生活しているため、1年365日全くの平穏無事ということはありませんが、それでも、大きな事故や生活指導上の慢性的な問題もなく、全校生徒が総じて落ち着いた学校生活をおくれているのは、皆さん一人ひとりの「自覚」と周りを気にかける「思いやる心」が育まれていることの証であると捉えています。2023年度はあと少しで終わりを迎えますが、この3つの視点については、次のステージでも是非継続してくれることを願っています。

## 終わりは始まり

3年生は3月12日に卒業の時を迎えます。カウントダウンに入った今、3年生の皆さんはどのような気持ちでいるのでしょうか？名残惜しい気持ちと新生活への期待とどちらが勝っているのか気になるところですね(^\_^)



残りわずかとなった中学校生活ですが、これまでと変わることなく、穏やかで朗らかな赤色学年の良き雰囲気そのままに卒業の日を迎えてほしいと思います。

3年生の皆さんがこの数ヶ月もの間、自分の将来（進路）と真剣に向き合い、様々な考え、悩み、葛藤を抱えながら過ごした時間や目指す目標に向かって努力を重ねてきた時間は、必ず大きな力になるはずです。4月からはそれぞれ自分が決めた道で歩みを進めていくこととなりますが、自分の選択した道が自分にとって最善であることを信じて、進んでいきましょう！皆さんに輝かしい未来が待っていることを願っています。



2年生・1年生はそれぞれ4月から“最上級生”と“先輩”になります。最上級生のバトンは卒業する3年生から2年生へ。中堅学年の先輩としてのバトンは2年生から1年生へと引き継ぐこととなりますね。2年生には3年生の姿が、1年生には2年生の姿がどのように映っていましたか？真面目に学習に向かう姿、部活や行事でリーダーシップを発揮し、一生懸命に頑張る姿、友だちを大切にする姿、etc… たくさんのモデルとなる姿を見てきたと思います。これまで3年生・2年生が残してくれた姿を継承しながら、そこに自分たちの色を加えて、新生3年生・新生2年生として、これまで以上に素敵な湘南台中学校を築いていきましょう！

今の学年の終わり＝次のステージの始まりです。卒業していく3年生も、2年生も、1年生もそれぞれの新しいステージでのますますの活躍を期待しています。

### 祝 文部科学大臣賞

神奈川県人権作文コンテストで最優秀賞を受賞した32組 寺内 瑞偉さんの作品（「かわいそう」ではありません）が、全国大会（中央大会）へ出品されたことは、12月の学校だよりでもお知らせしましたが、この度、令和5年度 第42回全国中学生人権作文コンテストにおいて、文部科学大臣賞を受賞しました。全国6,494校の中学校（特別支援学校を含む）から集まった761,947編の中から、トップ3に選ばれたこととなります。実に凄いことです。

担当の方に聞いたところでは、中央大会でこのような高い評価をいただいたことは、藤沢市ではこれまで例がないとのことでした。

受賞作品は、法務省のHPから閲覧することができますので、「法務省 人権作文」で検索してみてください。<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken111.html>

また、今後は英訳されて世界に向けても発信されるそうですよ。

### 感謝状

いただきました

人権作文については、全ての3年生が取り組み、“人権”について考えてきました。そのことが評価され、法務省と全国人権擁護委員連合会から学校に対し感謝状をいただきました。



裏面あり

## ある休日の話

先日、晴天に誘われて箱根方面にバイクを走らせていた日のこと。  
目的地が迫ってきたところで大渋滞にはまってしまい、休憩しがてら近くのコンビニに入ろうとしたところで Suica がいないことに気がつきました(^\_^; 買い物をするときに Suica 頼みになっている私は「ガ〜ン！落とした・・・」



この日の行動を思い返し、心当たりは朝立ち寄ったコンビニ1か所だけ。仕方なく引き返すことに。時間も数時間経っているし、半信半疑で朝寄ったコンビニの駐車場を探してみたものの Suica の姿はなし。一応、お店の方に届いてないか確認したところ、ナント届いていました！拾ってくれたお客さんがお店に届けてくれていたとのこと。表面の記載内容で落とし主であることを確認してもらい、無事に手元に戻すことができました。

皆さんも拾得物は届け出るのが当たり前という認識でいると思いますが、当たり前のことを当たり前のように行動することは、実は難しかったりします。当たり前のことをサラッとやっってしまう人ってカッコイイですよ。皆さんもそんなカッコ良さを目指してくださいね。拾って届けてくれた方、持ち主が見つかって一緒に大喜びしてくれた店員さん、この2人の方たちの温かさに触れ、何とも幸せな気持ちになりました(^\_^♪

## 保護者の皆さま・地域の皆さまへ

2023年度も残すところわずかとなりました。保護者の皆さま、地域の皆さまには、この1年、本校の教育活動ならびに地域における生徒たちの活動にご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝しております。3年生保護者の皆さまにおかれましては、これまでのご支援に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

また、新年度の在校生保護者の皆さまには、PTA活動へのご理解と引き続きのお力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。



## おいせ

4月の教職員人事異動に伴う離任式につきましては、3月25日（月）の修了式後に行います。異動・退任する教職員については、3月22日（金）にお子さまを通して「お知らせ」を各ご家庭に配布いたします。

3年生のご家庭につきましては、卒業後になりますので連絡メールでお知らせいたします。なお、異動先については、年度内はお伝えすることができませんので、月末の新聞報道等でご確認いただくか、新年度に学校から発出する「お知らせ」でご確認ください。

**一年間、ありがとうございました。**